

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和2年第8回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

また、早朝より定例会の傍聴にお越しをいただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、早いもので、師走も2週間を過ぎ、令和2年も残すところ2週間あまりとなりました。

新型コロナウイルス感染症は、依然として世界各地で猛威を振るっておりまして、国内においては、「第3波」のただ中にあり、北海道や大阪府など医療体制が逼迫している地域も出始め、更なる感染拡大防止策が打ち出されたところでございます。

広島県におきましても、県内全体に感染者数は拡大基調にあり、広島市の感染者の新規報告数が、既にステージ4に近い状態となっていることから、県及び県内各市町が連携をし、集中的な対策の強化に努めているところでございます。

本市におきましては、12月5日に、3例目となる感染症患者の方の確認がございました。幸い軽症であり、既に職場復帰されており、濃厚接触者の方も陰性との報告を受けております。

引き続き、市民の皆様には、生活リズムを整える、きちんと食事をとって体力をつけ、従来の「マスクの着用、手洗いの徹底、3密の回避」などの感染対策の徹底をお願いいたします。

私自身も、改めて、「油断をしない」「恐れない」という考えをしっかりと皆様と共有し、感染拡大防止に努めますとともに、国の第3次補正予算を見据えて、社会経済活動との両立を図るための施策に力を尽くしてまいります。

去る11月1日に告示をされました江田島市長選挙におきまして、私は、無投票での再選をいただきました。平成28年12月、市長就任以来、日々懸命に江田島市の課題解決に向け、4年間、駆け抜けて参りました。この間、市民の皆様をはじめ、議員の皆様方の御支援と御協力に対し深く深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

新生、江田島市も発足から、17年目を迎えております。本市のまちづくりのビジョンを示します「第2次総合計画」では、目指すべき都市像を「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」として、この取組を進めているところでございます。

私自身が、この中で、大切に思っておりますことが、私と同じく、いえ、それ以上の熱い思いをもって、故郷に心を寄せてくださる市民の皆様や、本市との「縁」を結び、「絆」を深めてくださる方々との出会いがございます。

こういった皆様との出会いは、私に勇気と力を与えてくださいます。

本市の「縁」づくりの大切な取組の一つに「ふるさと納税」の制度がございます。いずれの自治体も力を入れておまして、時に過剰と思える産品で寄附を募るものもあるようでございますけれども、私は、純粹に本市に思いを寄せていただく、そのお心を宝としたいとの思いで、ふるさと納税制度を運営いたしております。

2期目就任を控えた折に、私に大きな感動を与えてくれる出会いがございました。

平成20年の制度開始当初より、毎年、本市に多額の寄付をしていただいている方がいらっしゃいます。以前から、本市にどのような御縁をお持ちの方であろうか、気になっていた方でございます。

12月初旬、本市に寄せていただいたお心に対する感謝の言葉を是非直接お伝えしたいとの思いから、連絡を試みたところ、ご本人とお話することが叶いました。

「なぜ、毎年、本市にこのような思いを寄せていただいているのでしょうか？」とお尋ねをいたしました。すると、深い御縁がございました。

父方、母方それぞれの御祖父様が旧海軍兵学校にお世話になり、父親も海上自衛官として赴任され、同氏は幼稚園から小学校4年生までを江田島町の南官舎でお過ごしであったとのお答えでございました。

お話の端々に本市に対する溢れる愛情を感じることができ、とりわけ、「故郷と問われたら、江田島湾の穏やかで美しい海と段々畑の山、そして、小学校時代の恩師の先生を思い出します。」とのお言葉には、胸を熱くするものがございました。

10歳で父親の転勤により、横須賀市へ転居され、今はこちらに、身内の方は誰もいらっしゃらない、にも関わらず、故郷を、恩師の先生を大事に思い、寄附をし続けてくださる。

本当にありがたいことであり、と同時に、本市に「ふるさと納税」という形で思いを寄せてくださる多くの方々のお心を大切にしなければならないと強く思ったところでございます。

故郷、江田島市との縁を、絆を結んでいただいております多くの皆様方の思い、この島で、一日一日を愛しみ、暮らす市民の皆様方の思い、その思いをしっかりと受け止めたいと思います。

私の心の糧となる「念ずれば 花ひらく」「あれを見よ 深山の桜 咲きにけり、真心尽くせ 人知らずとも」、この言葉や道歌の教えを心に刻み、これからも江田島市をいいまちにするため、皆様と共に力を尽くしてまいります。

2期目就任の私の所信につきましては、これよりのち、お時間を頂き、述べさせていただきます。市民の皆様の生活に寄り添いながら、住む人も、訪れる人も、『ワクワクできる島』えたじまを目指して、熱意と誠意と創意でもって尽力をまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、本市の重点施策であります「子育て環境の充実」のための認定こども園条例の一部を改正する条例案ほか、公共施設の再編整備や売却のための補正予算などをお願いしております。

何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、11月開会の臨時会以後の市政の主な事柄につきまして、報告させていただきます。

市政報告書 1ページ、1項目め、「江田島バス株式会社の経営状況について」でございます。

令和2年12月1日付けで江田島バス株式会社から、第33期（令和元年10月1日～令和2年9月30日）の決算について報告がございましたので、地方自治法第243条の3第2項の規定により、別冊のとおり提出をいたします。

今期の経営状況について、路線・貸切りを合わせた収支は、収入が217,674千円、支出が232,753千円で、15,079千円の損失となっております。

市民の皆様の大切な公共交通機関として、引き続き、路線バスの効率化や経営改善に、連携して取り組んでまいります。

他の項目につきましては、報告書のとおりでございます。

以上で、報告を終わらせていただきます。